

質 問 回 答

2015年5月11日

「(案件名)全世界2015年度一般文化無償資金協力機材計画調査」(公示日:2015年4月22日/公示番号:150218)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	(P.1)第2 業務の目的・内容に関する事項 1. 業務の背景 2. 業務の目的	前年度までの業務には、当該年度の国別要望調査内容の解析業務が含まれていましたが、今回は含まれておりません。差し支えない範囲で解析業務が含まれていない理由を教えてくださいませんか。	近年の新規案件要請案件数が少なく、解析業務にかかる費用対効果を考慮した結果、今回は解析業務を削除させていただきました。
2	(P.3)第2 業務の目的・内容に関する事項 4. 実施方針及び留意事項 (4)調査対象案件の実施について 3)調達監理計画の作成ウ)	「船積時第三者検査にかかる検査費用はコンサルタント経費からの支出とする」となっておりますが、船積時第三者検査機関は貴機構より指定されるのでしょうか。	従来的一般プロジェクト無償等と同様に、コンサルタントが指定することとします。
3	(P.5)第2 業務の目的・内容に関する事項 6. 成果品等 4) 調査結果概要	外国語文について、和文版の抜粋ではなく、和文版全てを外国語文に翻訳し提出するという理解でよろしいでしょうか。	外国語文は和文版の抜粋です。調査結果概要の外国語版(英もしくは西)は、和文版の抜粋とし、設計方針、機材計画、相手国側負担事項、プロジェクトの維持管理、当初要請内容からの変更点を簡潔に記載いただくことを想定しています。

通番号	当該頁項目	質問	回答
4	(P. 7)第3 業務実施上の条件 1. 業務工程計画(案) (1)	「パラグアイおよびペルーについては移動日を含め各3週間程度を目安とする」とありますが、業務指示書どおりのグループ(グループ C(南米))で現地調査を行った場合、合計で約6週間(約1ヶ月半)を想定しているという理解でよろしいでしょうか。	合計で約6週間(約1ヶ月半)を想定しています。
5	(P. 6)第9 プロポーザルの評価 1 プロポーザルの評価基準 (1) 評価対象とする業務従事者の担当分野 (P. 8)第3 業務実施上の条件 2. 業務量の目途と業務従事者の構成(案) (2) 業務従事者の構成(案)	ペルーとパラグアイの機材調達/積算3について、それぞれの国で別の業務従事者を充てる場合、それぞれの業務従事者の履歴書等が必要となるのでしょうか。	「機材調達/積算3」は評価対象の業務です。「機材調達/積算3」が複数の業務従事者による提案となる場合には、当該業務従事者の全員の「評価対象業務従事予定者経歴書」(様式5)を提出してください。 (「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン」P6のとおりです。 http://www.jica.go.jp/announce/manual/guide/line/consultant/proposal_201211.html)
6	(P. 9)プロポーザル評価表	通番号5の質問に関し、2名分の履歴書等が必要となった場合、それぞれの業務従事者の評価点数配分はどのようになるのでしょうか。	「機材調達/積算3」の配点の範囲で按分しますが、按分の方法は提案内容を勘案した上での選定委員の判断になります。

以上